

市長（山田憲昭君）

おはようございます。

まず、朝鮮通信使献上句碑の解説掲示板の設置についてお答えをいたします。

加賀の千代女を全国に知らしめたのは、あさがおの句と朝鮮通信使献上句であり、このことが現在の俳句のまち白山市の礎を築いております。

解説掲示板の設置であります。現在の句碑には、掛け軸の書体そのまま刻字されていることから、判読が困難であるということでありまして、御指摘のとおり、常用漢字と平仮名でそれを記した掲示板を設置したいと考えております。

なお、21句それぞれの解説を記した掲示板につきましては、句碑周辺に場所がないことから設置は考えておりませんが、見学をされる方が千代女の俳句を親しむことができるよう、21句を解説したパンフレットないしガイドを作成し、俳句館並びにふるさと館で配布をしたいと考えております。

次に、千代女と朝鮮通信使献上句碑を白山市の観光スポットにする手だてについてお答えをいたします。

今般の北陸新幹線金沢開業は、白山市や千代女を全国に発信する絶好の機会であります。

金沢駅から10分で来ることができるJR松任駅前の千代女の里俳句館は、その立地条件を生かすためにさらなる充実を図ることが重要であると考えております。

新年度、より魅力ある俳句館とするために、新しく館内に、西のぼるさんが描かれた千代女の俳画等を展示する常設コーナーを設置し、内容を充実することといたしております。

また、俳句館に観光案内機能を持たせることで、観光客の集客と利便性の確保を図ることといたしております。

今後も、俳句館の機能強化とあわせ、全国俳句大会等の開催により、千代女のさらなるPRを図っていききたいというふうに考えております。

以上であります。